

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会
第6回ワーキンググループ 議事概要

日時 令和4年5月13日（金）9:45～11:30
会場 仙都会館8階会議室
議題 利活用編：社会実験の概要について
第1回市民参画イベントの報告について
交通処理編：社会実験期間に実施する調査の実施項目について

配布資料 次第

- 【資料A】 本日の座席表
- 【資料B】 協議会委員、オブザーバー名簿
- 【資料C】 ワーキンググループ構成員名簿
- 【資料1】 青葉通駅前エリアのあり方検討協議第6回ワーキンググループ
 1. これまでの検討状況と今後の進め方について
 2. 社会実験（日程・利活用概要）（案）
 3. 第1回市民参画イベント（3/27）
 4. 第2回市民参画イベント（5/21）（案）
 5. 社会実験時の道路空間配分（案）
 6. 社会実験における交通量調査等（案）
 7. 本日もご意見いただきたい点
 8. 第6回WG後の社会実験までの予定（案）
- 【資料2】 第1回市民参画イベント アンケート内容&回答
- 【資料3】 第2回市民参画イベント チラシ

○主な意見等

【利活用編】

- ・利活用面の体制やコンセプト、利活用内容が具体的に決まっていない状況である。そのため、委員の方々から意見を頂き、具体化を進めていく必要があると考える。
- ・仙台市の顔となるような広場を作るにあたって、今回の社会実験では利活用空間を南側に設ける想定となっているが、南側の再開発が進むと日陰になる時間が多く、印象として暗く、北側のほうが明るい印象を持たれるのではないかと。
- ・当該エリアのポテンシャルを図ることが社会実験の目的であると思う。
- ・南側と北側のどちらを利活用するかという問題については、事務局も意識しながら進めてほしい。
- ・沿道の開発が進む中で、公共空間の管理が必要となる。賑わいだけでなく防災やバリアフリーといった観点も必要となる。公共空間であるが故の制約が出てくると考えられる

が、仙台の顔というのが伝わるような工夫をしてほしい。広場化に向けては沿道施設等のビルへのトイレの使用等の協力を頂くことになることが想定されるため、周辺の方々に受け入れていただけるような社会実験になればと思う。

- ・情報発信が大事と考えている。多くの市民に知っていただき関心を持っていただくことが大事であり、市民参画イベント等で社会実験や将来ビジョン等を情報発信していくことが大事であると考えている。
- ・市民参画イベントの情報発信が直前なので、早めに情報発信いただけるともっと関心を持っていただけると思う。
- ・どのような利活用方法が良いのか、何をするのかより先に、市民にとって仙台への来訪者にとって居心地の良い空間にしたい。具体的には仙台中心部活性化の課題となっている回遊性について、当該エリアを活用できないか。市内の他のエリアのイベント等のプレゼンできる場を設けて、インフォメーション的に使う方法があるのではないか。
- ・利活用空間の危惧する点として、排気ガスの問題があると考えている。利活用空間と車道の境界にプランターを置く等の利活用空間の歩行者が排気ガスの影響を受けないような案があると良い。
- ・自転車道を設けるため、南側の利活用空間は細長い空間となる。その空間の活かし方を検討するとともに、車道との境界部分についても、仮設ガードレールのデザインなどについてコストとのバランスも考えながら工夫したい。
- ・まずは社会実験を実施して、市民の意見や課題を洗い出していくことが必要と考える。
- ・今年度は困難であると考えられるが、次年度以降ジャズフェス等の他のイベントとスケジュールを重ねた方がよいのではないか。他のイベントも含めた仙台の窓口としての効果検証ができるのではないか。
- ・告知は大事であり、沿道商業施設への協力をお願いしたほうが良いと考えている。
- ・今後の利活用の方針について、準備事務局が中心となって利活用の具体的な内容については決めるということだが、確定する前にWGで諮って確定させていくのがよい。
- ・利活用の具体案について、仙台駅前の空間での実施がふさわしいものか否か、将来の仙台駅前のビジョンとの繋がりを示していただき、将来を見据えて今回の社会実験で行うことが望ましい理由が必要である。また、テーマや将来とのつながりを明示していただきたい。

【交通処理編】

- ・バス停は南側に設けたほうが良い。理由としては、バスプールに近くなる、地下鉄の入り口に近くなることから、バス利用者の利便性の向上が図られると考えられるためである。
- ・自転車道については、自転車の導線を考慮した際に北側に設けることで利用される自転車道になるのではないか。
- ・将来的に上記の形式が望ましいと考えており、実験でもその形を実験するべきと考えてい

る。

- 一般車通行止めになる影響を計測することになると思うが、渋滞等のデータのみではなく、一般市民の生の声を収集する必要があるのではないか。どのように収集するのか具体的に教えてほしい。
- 一般市民の声を聞くことが最も大事であると考えている。反対意見のほうが多いと思う。意見を収集し、結果を公表することが重要と考えている。
- 利便性低下等のネガティブな影響を把握し、可能な限り対策を行った上で社会実験を行うことが望ましい。また、社会実験の効果検証結果については公表していくことが必要と考えている。
- 将来ビジョンが気になった。当該エリアが将来的にどのようなエリアになるのか、最終的に駅とも関わるため気になるところである。当該エリアへは仙台駅からペDESTリアンデッキを利用してアクセスすることになるが、当該エリア付近の導線が細い等の課題があり、どのように当該エリアにアプローチするか、また、まちづくりの中で将来どういう位置づけのエリアになるのか気になる。
- バスのお客様の声についても収集したほうが良いと考えている。
- タクシーのお客様の声を聞いたほうが良いと考えている。
- 広場化には反対なので特に意見はない。
- バスの騒音も利活用空間に影響を与える可能性があるため、考慮いただきたい。
- 社会実験の効果検証が重要であり、周辺交通への影響等の結果を明確に提示いただきたい。
- 一般車通行止めによる周辺交通への影響が著しく大きいのであれば、対策を考えていただきたい。また、台風の影響も考慮していただきたい。
- 一般車が青葉通から仙台駅の送迎エリアに入れなくなるため、その影響の緩和策を検討していただきたい。おそらく仙台駅に入る車両の滞留がアエルのほうに延伸することが想定される。ネガティブインパクトへの対策を検討いただきたい。
- サインボードなど、人が行きたいところに行けるような案内についても検討してほしい。

以 上